

2018年度 事業報告書

衣料管理士(TA)関係

◆衣料管理士(TA)資格の認定・登録

	大学正会員卒業生 [2019年3月認定]	大学正会員卒業生 [2018年9月認定]	2018年度認定・登録者
1級	374名	1名	375名
2級	247名	0名	247名
計	621名	1名	622名

◆高校生へのTA広報

◇DVD「ファッションビジネスと衣料管理士」、ポスター、パンフレットによる高校生へのTA広報

- 全国約1,300校の高等学校の家庭科担当教員へ送付
- 会員大学のオープンキャンパスなどで活用

◇旺文社との連携

- 大学進学応援サイト『パスナビ』のレクタングルバナーへ広告掲載

◇高校の関係組織との連携

- 全国高等学校長協会家庭部会（校長の組織）
 - ・出版物『家庭部会報』（購読者：校長・家庭科教員）へ広告掲載
 - ・会員名簿に広告掲載
- 全国高等学校家庭クラブ連盟（高校生・家庭科教員の組織）
 - ・出版物『Future Homemakers of Japan』（購読者：高校生・家庭科教員等）へ広告掲載
 - ・家庭クラブ研究発表大会の資料にTA広告掲載

◆大学新生へのTA広報

- 『新生のための衣料管理士ハンドブック』を製作し、会員大学新生へ広報

◆TA養成科目のテキスト出版

- 『改訂第2版ファッション商品論』テキストの増刷（2018年9月、400部）
- 『アパレル設計・生産実習』テキストの編集・出版（2019年2月、1,500部）
- 『染色加工学』テキスト編集作業開始
執筆者：牛田智常任委員、團野哲也常任委員、丸山尚夫常任委員、榎本一郎氏（日本女子大学教授）
- 『改訂消費生活論』テキスト編集作業開始
執筆者：島田和夫氏（東京経済大学名誉教授）、坂倉忠夫氏（ACAP専務理事）、柿野成美氏（消費者教育支援センター課長）、小野由美子氏（東京家政学院大学准教授）

◆大学正会員と繊維・ファッション業界との産学交流事業

[繊維ファッション産学協議会（産業5団体、学校2団体、学会他2団体）]

事務局：一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

日程：2018年4月17日（総会）

◆調査事業

＝衣料の使用実態調査＝

◇平成29年度調査の実施分データの解析と報告書の刊行

調査対象者：28校、学生655人

依頼日：2017年11月21日

回収：2018年2月

報告書刊行：2019年1月

◇平成30年度調査の実施

調査対象者：28校、学生338人、父336人、母336人

依頼日：2018年11月21日

回収：2019年2月

報告書刊行：2019年12月予定

◇新聞・雑誌への掲載

■2019年1月25日 日本クリーニング新聞

『所持数と購入・使用の実態 女子大生の最新衣料19品目』

＝トピックス調査＝

◇平成29年度実施『ファッションにおけるネットとSNSの利用に関する調査』のデータ解析と報告書の刊行

調査対象者：28校、学生514人、母140人

依頼日：2017年11月21日

回収：2018年2月

報告書刊行：2018年10月

◇平成30年度調査『衣生活行動に関する調査』の実施

調査対象者：28校、学生514人(女子490人、男子24人)、母140人

依頼日：2018年11月21日

回収：2019年2月

報告書刊行：2019年秋

◇新聞・雑誌への掲載

■2018年11月25日 日本クリーニング新聞

『IT普及で行動に変化ありあり 消費の循環、情報ツールが激変』

＝衣料管理士の就職状況調査＝

調査対象者：2018年3月卒業の衣料管理士取得者

依頼日：2018年4月

◆研修事業

◇消費科学セミナー

開催日：2018年10月27日(土) 12:30～17:00

会場：メルパルク東京 『白鳥』

テーマ：・消費科学とは [講師：大橋正男氏]

・消費者行動 [講師：藤田雅夫氏]

・繊維製品の品質 [講師：永野 暁氏]

・繊維商品の流通・消費 [講師：高見俊一氏]

参加者：34名(大学9名、TES他25名)

◇TA養成教員のブラッシュ・アップ講座

テーマ：愛知・静岡県の繊維産地・企業等の見学・研修

開催日：2019年3月25日(月)～26日(火)

見学先：・天龍社織物工業協同組合 [コーデュロイ・別珍の見学・研修]

・東海染工(株)浜松事業所 [綿の染色工程の見学・研修]

・ユニチカ(株)岡崎事業所 [ポリエステル(長繊維、短繊維)の製造工程の見学・研修]

・有松絞り [有松絞りの工程の見学・研修]

参加者：36名

◆大学正会員関係

◇年次報告書審査

報告書提出：2018年6月末日

審査：大学審査プロジェクト(2018年8月8日開催)

第204回常任委員会(2018年9月12日開催)

結果の通知：2018年9月28日

◇主務教員会議の開催

開催日：2018年12月1日(土) 14:00～18:30

会場：メルパルク東京 3階『薔薇』

内容：□講演

『大転換期を迎えているファッション業界の求める人材とは？』

講師：田口剛氏(豊島(株)人事部参与)

□TA交流プロジェクトについて

…趣旨、実施例と学生に及ぼす効果、今後の実施計画

□協会からのお知らせ

1. 「TA養成教員のブラッシュ・アップ講座」の実実施計画

2. 調査事業の概要報告

3. TES試験結果、変更事項

4. 出版事業の現状

出席者：24名

◆『衣料管理士の集い』の活動への支援

■衣料管理士相互の情報交換

■勉強会、見学会による自己研さん活動

◇勉強会

日程	支部	内容
4月24日	関西	・上手な洗濯で快適生活
5月9日	関東	・アパレルの品質管理
6月5日	関東	・獣毛について
9月22日	合同 (中部にて開催)	・CSR体制の構築について —持続性のある工場施策— ・服育～衣服の力を生きる力に～ ・大規模災害時の衣の支援
10月26日	関東	・フォーマルウェアについて
11月15日	関東	・繊維害虫について
12月4日	関東	・歴史に見るラグジュアリーブランドの事業継承
1月15日	関西	・フォーマルウェアについて
2月27日	関西	・環境・安全面から見た繊維業界のこれからの課題
3月19日	中部	・酸素系漂白剤について

◇見学会

日程	支部	内容
7月20日	関西	・デサントアパレル(株) 吉野工場
10月30日	関西	・(一財)ボーケン品質評価機構 大阪事業所

◆TA交流プロジェクトチームの活動

■目的: 現場で活躍する衣料管理士が衣料管理士取得の意義、業界で役立つ知識などを、衣料管理士を目指す学生に伝え、学生の衣料管理士取得のモチベーションを高め、衣料管理士取得希望者を増やす。

■発 足: 2017年7月4日

■メンバー: 協会常任委員(衣料管理士資格者)、衣料管理士の集い幹事

◇TA交流会の実施

現場で働く衣料管理士が、学生に対して、仕事内容、これまでの業務経験、TAの知識が役立ったエピソード、TA資格の意義、学生へのアドバイスなどを内容とした講演。

実施日	大 学	人数	講 師
5月8日	武庫川女子大学		・(株)阪急クオリティーサポート 村本祐子氏 ・(一財)日本繊維製品品質技術センター 北畑早紀氏
9月14日	和洋女子大学 (資格ガイダンス)	約30名	・西川(株) 斉藤幸子氏、 ・元(株)ゴールドウイン 大場眞知子氏
10月11日	共立女子大学	78名	・ヤマトインターナショナル(株) 比留間愛氏 ・(株)セブン-イレブン・ジャパン 大須賀英里佳氏 ・(株)エトワール海渡 外村史子氏
11月17日	日本女子大学	約70名	・(株)サンペックスイスト 長澤順子氏 ・(一社)日本アパレルクオリティセンター 今宮桜子氏 ・(株)東京ソワール 小島亜美氏 ・(株)レナウン 田鹿葉子氏
11月27日	東京家政大学	31名	・(一財)カケンテストセンター 清水美希氏 ・(株)アダストリア 柳亜季子氏 ・(株)ストライプインターナショナル 加賀田淳子氏
12月12日	和洋女子大学	約20名	・(株)東京ソワール 櫻井美佳子氏
2月20日	大妻女子大学	65名	・(株)東京ソワール 小島亜美氏 ・(株)高島屋 山内恵理氏 ・(株)ストライプインターナショナル 加賀田淳子氏

繊維製品品質管理士 (TES) 関係

◆繊維製品品質管理士(TES)資格の認定・登録

◇新規登録試験 (第37回)

出願者	試験合格者	2018年度認定・登録者
2,340名	386名	384名

◇登録更新試験 (対象: 第2期・第7期・第12期・第17期・第22期・第27期・第32期TES)

対象者	2018年度登録更新者	更新率
1,409名	1,132名	80.3%

[1,132名の内訳]

更新試験に合格した者	代替措置の適用が認められた者	更新した者 ／3回以上の更新で合格扱いの者
543名	120名	469名／552名

◆代替措置: TES会等の活動に数多く参加したTESは登録更新試験に合格したものと扱う。

◆3回以上の更新で合格扱いの者: 3回以上の更新者は品質管理の実績があるものと認め登録更新試験に合格したものと扱う。

[繊維製品品質管理士の有資格者総数]

7,963名

[2019年4月1日現在]

◆TES制度の広報

- TESポスター・パンフレットを団体・企業・行政機関等へ送付してTES制度の広報依頼
 - ・繊維関係の業界団体・検査団体
 - ・繊維業界の有力企業
 - ・ネット通販・EC企業
 - ・国民生活センター、消費者センター、繊維工業試験場など行政機関
 - ・教育機関 (大学・専門学校他)
- 専門紙、学会誌などへTES試験実施要項を掲載して広報
 - 日経MJ、織研新聞、繊維学会・消費科学会誌等
- (株)商業界『ファッション販売』において、販売現場でのTESの意義を強調
 - 広告: 「TES (繊維製品品質管理士) 資格の概要と2019年の試験告知」
 - 掲載: 2月27日発売の4月号、3月27日発売の5月号
- 企業訪問によるTES広報
 - 企業の取締役、能力・人材開発責任者に対してTESの意義を説明し、TES受験を奨励するよう依頼。

◆TES受験テキストの改訂

- 『改訂繊維製品の品質苦情ガイド』テキストの企画・編集

内容: 「品質苦情ガイド」の内容を見直し、JIS L 0001の取扱い表示記号へ変更するとともに、「繊維製品の苦情処理技術ガイド」(色に関する苦情)、(損傷、形態変化、外観変化、機能低下等)、(縫製・安全性・表示等に関する苦情・不適正)

の内容も盛り込む。

執筆者：永野暁副会長、清嶋展弘氏（㈱デサント）、中西輝薫氏（ユニチカトレーディング㈱）、藤本晋氏（(一財)カケンテストセンター）、本郷利明氏（前㈱キング）

◆TES制度の変更事項（2018年度）

■出願受付期間の変更 従来5/10～5/20 → 5/1～5/20

◆苦情衣料品収集プロジェクトチーム

■メンバー：TES会（東日本支部・中部支部・西日本支部・北陸支部・中国支部）

（一財）カケンテストセンター

（一財）ボーケン品質評価機構

（一財）日本繊維製品品質技術センター

関西繊維商品めんてなんす研究会

■発 足：2017年12月20日

■趣 旨：苦情原因を商品企画時などに前向きに役立てる目的で発足。苦情衣料品を短期的には「繊維製品の品質苦情ガイド」改訂版に活用するとともに、将来的には繊維製品の品質苦情データベースの構築に役立て、社会へも発信する。

◆TES会活動への支援

東日本・中部・西日本・北陸・中国支部および九州会の活動を支援する。

活動の3本柱は、①自己研さん、②TES相互の情報交換、③行政との連携。

◇研修会、講演会、見学会など自己研さん活動

<東日本支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	6月19日	126名	・ポストECのニューリテイル革命とTBPP 【情報交換会】38名
新入会員歓迎会	12月11日	168名	・獣毛について 【情報交換会】61名
苦情処理検討会	5月22日	177名	・毛皮（ラビット）のスレ ・セーターの毛羽抜け 【講座】機能性素材の試験方法及び加工方法の基本知識
	7月13日	181名	・インディゴ先染め布帛シャツの変色 ・ラミネート加工ブルゾンの損傷 【講座】縫製品によくある不具合の原因と対策
	9月13日	173名	・リップル加工ブラウスの変色 ・コートやしわ 【講座】縫製工場の安全性管理について
	11月6日	144名	・スラックスの股部分のラン ・キッズパンツの倉庫保管中の変色 【講座】紳士服の立体化技法及びクリーニング後の整形仕上げによる復元技法
	1月29日	189名	・金メッキボタンの変色 ・プルオーバーの繊維くずの脱落 【講座】インディゴの染色、加工、品質検査

行事	開催日	人数	内容
苦情処理検討会	3月14日	115名	・デニムパンツの変色 ・サテンプラウスの目寄せ 【講座】新JIS変更後のクリーニング事情とクリーニング現場から伝えたいこと
クミボウ研	6月12日	23名	・ユニットクリーニングの現場見学 (株ニック)
	8月30日	15名	・洗濯機・乾燥機の製造工程、最新コインランドリーの見学 (株TOSEI静岡工場)
	11月9日	23名	・絨毯のクリーニング及びメンテナンス工程の見学
	2月14日	114名	・最近のクリーニング事情と事故事例
ライフサイクル研究会	5月24日	31名	・ソーイングアサヒ(株)の見学
	7月27日	35名	・婦人ジャケット解体セミナー
	10月25日	82名	・絹の特性とその応用
	2月27日	91名	・繊維製品の抗微生物試験について

<中部支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	5月19日	46名	・日本人の体型はどのように変化したのか
新歓	1月26日	41名	・人の体温に関する生理反応と衣服の快適性
クレーム勉強会	4月20日	37名	・芯地の基礎と係わるクレーム
	6月15日	26名	・クレーム事例検討：Qttec
	8月17日	27名	・クレーム事例検討：ボーケン
	10月19日	26名	・クレーム事例検討：ニッセンケン
	12月14日	36名	・インクジェット染色の現状と将来
	2月15日	21名	・クレーム事例検討：カケン
基礎セミナー	7月7日	62名	・クリーニングからみた新JIS
	9月8日	56名	・家表法改正の変更点・注意点、業界の動向について
	11月16日	39名	・小松マテーレ(株)の工場見学
	3月16日	83名	・ファッションシェアリングが作る出会い体験

<西日本支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	5月25日	111名	・繊維製品による皮膚障害～加工薬剤、界面活性剤の安全性 ・染色のメカニズムと染色品の品質管理
新会員歓迎会	1月18日	40名	
見学会	6月15日	57名	・(株)日坂製作所 鴻池事業所
	9月21日	23名	・福井県工業技術センター
	12月7日	33名	・大阪染工(株)
	2月15日	42名	・ボーケン品質評価機構大阪事業所
繊維勉強会	7月27日	69名	・衣料サイズと表示、デジタルフィッティングの国際標準化の最新動向 ・カイハラ(株)の物づくりの考え方
	10月19日	81名	・繊維製品を対象とした高性能JISの制定および検討状況について ・アパレルの品質管理
繊維勉強会	1月18日	101名	・染色加工製品の取扱い事故を防ぐには ・クリーニングトラブルを避けるための注意点とトラブルの対処

行事	開催日	人数	内容
品質問題研究会	8月24日	74名	・合成皮革の構造・特性と耐久性 【パネルディスカッション】
	11月22日	44名	・色に関する苦情事例と原因分析プロセス 【グループディスカッション】色に関する苦情
	3月29日	79名	・黄変について 【パネルディスカッション】
支部交流会	11月16日 ～17日	21名	・西陣会館視察 ・ワコール本社見学

<北陸支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	6月16日	62名	・人の体温に対する生理反応と衣服の快適性 ・日本企業の海外展開とグローバル化を支える人材とは
新会員歓迎会	12月8日	67名	・東洋紡STCの機能素材について ・快適な着心地と手入れが簡単な衣料品
技術講演会	4月21日	47名	・新JIS取扱い表示の課題とその方策 ・百貨店における品質管理
技術講演会	10月27日	59名	・繊維製品による皮膚障害について ・産業資材の用途展開と最近の開発動向
繊維製品品質管理基礎講座	4月7日	51名	・色に関するトラブルについて
	2月9日	35名	【苦情事例研究会】・苦情事例の解析とプロセス 【解析演習】
	3月23日	28名	【公開講座】 ・色、脆化、破損の苦情事例
工場見学会	9月20日	46名	・日華化学㈱ NICCAイノベーションセンター ・非フッ素系撥水剤 NEOSEED®について

<中国支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	5月12日	42名	・スマートテキスタイルの現状と今後
新会員歓迎会	11月24日	47名	・スポーツウエアに求められるもの
試験機実習	6月8日	6名	・倉敷市繊維技術センター
勉強会	7月28日	27名	・繊維産業の課題と経済産業省の取組み ・チャンスの前髪をつかんだ背景とこれから
	9月29日	32名	・クレーム対応・品質問題 ・ビッグデータを活用しての改良・改善
	3月9日	27名	・ものづくりとブランディング ・日本の品質 海外との試験比較など

<九州会>

行事	開催日	人数	内容
見学会	4月20日	10名	・久留米絨工場
講演会	7月13日	25名	・クリーニング現状での苦情処理について ・苦情商品の防止、解決するための基礎知識
	10月19日	18名	・発生しやすい縫製欠点の原因と対策について ・繊維素材のおさらい
	2月22日	22名	・捺染、無地染生地之苦情事例と関連する試験及び再発防止策

◇TES会代表幹事会

■第1回

開催日：2018年10月26日（金）14:00～17:00

場 所：日本衣料管理協会会議室

内 容：・各支部の状況報告および課題について
・苦情衣料品収集プロジェクトの進捗報告について 他

■第2回

開催日：2019年3月15日（金）11:00～14:00

場 所：日本衣料管理協会会議室

内 容：・各支部活動報告および課題
・事務局への要望事項
・苦情衣料品収集プロジェクトの進捗報告について 他

◇経済産業省生活製品課とTES会代表幹事との懇談会

開催日：2019年3月15日（金）15:00～17:00

場 所：経済産業省 本館8階 会議室

出席者：小林会長、永野副会長、TES会代表幹事、TES会事務局、他

内 容：・経済産業省生活製品課からの話題提供
－繊維産業の課題と経済産業省の取組－
マスカスタマイゼーションの取組状況、外国人技能実習生事業協議会における取組ほか
・TES会からの話題提供
－各支部から産地・業界の現況報告他－

◇『TES会通信』の発行（偶数月）

・TES会各支部の行事の案内および開催結果報告をまとめ、TES会員へ情報提供する。

その他の活動

◆会報の発行

- ・第180号（4月1日発行）
- ・第181号（7月1日発行）
- ・第182号（10月1日発行）
- ・第183号（1月1日発行）

◆『ミニ情報』の発行

- ・第35巻1号（4月1日発行）
- ・第35巻2号（6月1日発行）
- ・第35巻3号（8月1日発行）
- ・第35巻4号（10月1日発行）
- ・第35巻5号（12月1日発行）
- ・第35巻6号（2月1日発行）

購読資格：会員限定

内 容：行政 [経済産業省、消費者庁、内閣府、文部科学省等の関係情報]

抄録 [規格関係・素材・加工・アパレル・流通・クリーニング・消費・クレーム
・品質管理の分野の最新情報]

行事 [学会、団体、業界等が主催する行事の情報]

発 行：偶数月の1日

◆関係団体との連携

■公益財団法人スガウエザリング技術振興財団へ委員派遣

「平成30年度染色堅ろう度関係JIS改正原案作成委員会」

（委員として松村正明氏を派遣 任期：2019年12月31日まで）

■一般社団法人繊維評価技術協会へ委員派遣

「繊維製品の取扱い表示記号に関する国際標準化に関する標準化委員会」

（委員として大谷芳男理事を派遣 任期：2019年2月28日まで）

■大学間連携(信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学)共同教育推進事業『繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成』にステークホルダーとして参画

（運営委員として堀井二三男委員 任期：2020年3月31日まで）

■日本繊維製品・クリーニング協議会へ委員派遣

（大橋正男常任委員 任期：2019年3月まで）

■繊維ファッション産学協議会との連携

（近藤美文事務局長）

■繊維の製造・加工・流通関係団体（全国・地方）、検査機関等との連携